



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 協栄産業株式会社

コード番号 6973 URL <https://www.kyoei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 平澤 潤

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 村本 篤 TEL 03-4241-5511

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	31,003	8.1	1,083	68.3	1,095	45.3	670	12.3
2022年3月期第2四半期	28,668	14.9	644	—	753	—	597	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 709百万円 (△0.1%) 2022年3月期第2四半期 710百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	223.01	—
2022年3月期第2四半期	196.03	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	38,095	15,584	40.9
2022年3月期	36,347	14,964	41.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 15,584百万円 2022年3月期 14,964百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2023年3月期	—	40.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	30.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	5.3	1,600	15.4	1,600	15.8	900	△56.2	299.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	3,193,545株	2022年3月期	3,193,545株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	187,411株	2022年3月期	187,098株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	3,006,298株	2022年3月期2Q	3,046,745株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期第2四半期の個別業績 (2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	26,103	5.3	814	8.0	994	5.0	468	△22.0
2022年3月期第2四半期	24,797	21.3	754	381.9	947	243.8	600	45.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	155.72	—
2022年3月期第2四半期	197.01	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	34,969	14,455	41.3
2022年3月期	33,691	14,329	42.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 14,455百万円 2022年3月期 14,329百万円

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、資源価格上昇による部材の高騰や米国の政策金利の引き上げによる大幅な為替変動の影響を受けるとともに、入手難が続いている半導体デバイス部品は、一部製品では緩和の動きが見られましたが、自動車をはじめとする製造業は部品不足により、生産活動が滞る事業環境が継続いたしました。

一方、設備投資は、先進物流施設などの建設投資、脱炭素に向けた環境対応投資、半導体製造装置向けが下支えとなったことにより、緩やかな持ち直しとなり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

また、海外においては、中国では、コロナ対応の行動制限が広範囲で発動され、再び景気に下押し圧力がかかるとともに、ウクライナ情勢など地政学リスクが、資源価格の更なる上昇を招く恐れがあるなど、世界経済の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、デジタル化やネットワーク化が急速に進展することで、半導体デバイス品、これらを生産する機械装置の需要は底堅いものがある一方、海外経済の減速を背景に半導体デバイス品を中心に需要の調整圧力が高まることなどが予想されるなど予断を許さない状態が続いております。

以上の結果、為替相場が円安基調で推移したことなどもあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は310億3百万円、前年同期に比べて8.1%の増収、営業利益は10億8千3百万円、前年同期に比べて68.3%の増益、経常利益は10億9千5百万円、前年同期に比べて45.3%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億7千万円、前年同期に比べて12.3%の増益という成績になりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (半導体デバイス事業)

- ・売上高 207億4千万円 (前年同期比16.1%増)
- ・営業利益 12億7千5百万円 (前年同期比74.8%増)

半導体デバイス事業においては、海外のサプライチェーンの混乱による部材不足は平常化に向かい始めましたが、未だ一部半導体デバイス部品においては、製品確保が難しい状況のため、自動車や白物家電、工作機械や半導体製造装置関係をはじめとする製造業での生産制約が続いております。

このようななか、売上面は、部材供給において、逼迫した状況が続いておりますが、総体として徐々に解消する方向で進んだことと為替相場が円安基調で推移したことなどにより、順調に推移いたしました。利益面は、売上面が順調であったことで好調に推移いたしました。

事業の詳細は以下のとおりです。

半導体デバイスは、自動車関連では、危険運転対策用車載機器装置向けやその他装置向けの需要が底堅く推移いたしました。一部製品において製品確保が難しい状況が続いているため、堅調に推移いたしました。

白物家電関連は、部材不足のため、空調機の生産に制約が続いていることにより、インバータ用パワー半導体の売上が、減少傾向で推移いたしました。

産業機関連は、半導体製造装置向け、5G関連機器向け等での需要増加により、アナログ、パワー半導体の受注は好調を維持しておりますが、製品確保が難しい状況が続いているため、堅調に推移いたしました。

事務機器関連は、複合機向けの受注が伸長し、海外製メモリの売上が好調に推移いたしました。

スマートフォン関連は、納入先において他社品の受入れが停滞したことに伴い、当社納入デバイス品の受注が伸長し、好調に推移いたしました。

金属材料事業は、銅建値が高値圏で推移したことにより、売上増加の要因となり、順調に推移いたしました。

IC開発は、主力客先からの各種開発、テスト案件への増員要請に対し、パートナー会社活用により、好調に推移いたしました。IC試作サービスの受注に苦戦したことにより、全体としては堅調に推移いたしました。

## (プリント配線板事業)

- ・売上高 33億8千7百万円 (前年同期比0.4%減)
- ・営業損失 3千万円 (前年同期営業損失5千1百万円)

プリント配線板事業においては、中国基板メーカーと連携して行っている海外基板ビジネスは、円安基調が継続していることにより、売上面、利益面とも低調に推移いたしました。

自社製基板ビジネスは、原価高騰による販売単価の見直しなどで売上面は改善いたしましたが、生産面は、基板材料等の納期長期化が継続していること、度重なる材料の値上げとともに生産設備の不具合などもあり、国内工場での生産効率が低下し、全体として営業損失となりました。

事業の詳細は以下のとおりです。

車載向け基板は、半導体不足による自動車メーカーでの生産制約が続いているため、メタルコア基板、厚銅箔基板、特殊技術を活用したLED応用製品向けモジュール基板の受注は堅調に推移いたしました。

民生向け薄板基板は、電子精密機器の需要低下が継続し、受注は低調に推移いたしました。

産業機向け基板は、各種ロボット制御向けや半導体製造装置向け基板の受注が好調に推移いたしました。

海外で中国基板メーカーと連携して行っている基板ビジネスは、円安基調が継続していることにより、売上面、利益面とも低調に推移するとともに、新規商談の進捗が停滞いたしました。

## (産業機器システム事業)

- ・売上高 47億6千1百万円 (前年同期比11.2%減)
- ・営業利益 4億1百万円 (前年同期比10.0%減)

産業機器システム事業においては、部材不足による納期長期化が続くなか、半導体製造装置向け加工機、機器製品等の需要増により、総じて堅調に推移いたしました。

事業の詳細は以下のとおりです。

産業メカトロニクスは、主要客先からの加工装置・自動化システムの大型設備案件の受注は、順調に推移いたしました。

FA機器は、製品構成部材の材料不足により製品確保が難しい状況が続いておりますが、半導体製造装置関連向けの旺盛な需要により、順調に推移いたしました。

施設向け設備は、空調冷熱では、北海道、東北地区からの受注が堅調に推移いたしました。

3Dプリンタは、装置本体の受注に苦戦し、低調に推移いたしました。

制御装置は、物流倉庫向け搬送ロボット案件の受注に苦戦し、低調に推移いたしました。

## (システム開発事業)

- ・売上高 19億1千5百万円 (前年同期比0.7%減)
- ・営業利益 2億3百万円 (前年同期比29.2%減)

システム開発事業においては、受託開発では、電力関連向けは、売上面、利益面ともに堅調に推移いたしました。受注ソリューションにおいて、食品製造業向けは、原材料高騰等により投資意欲が減速傾向となり、売上面、利益面、受注面ともに苦戦いたしました。

事業の詳細は以下のとおりです。

受託開発は、電力関連向けにおいては、新規案件、既存システム保守・改良案件により、堅調に推移いたしました。その他向けでは、要員確保に苦戦したこともあり、売上面、利益面が低調に推移いたしました。

受注ソリューションは、原材料高騰等により投資意欲が減速傾向となり、食品製造業向けが総じて苦戦いたしました。

ビジネス系ソリューションは、既存顧客からの大型リプレース案件もあり、総じて順調に推移いたしました。

建設関連は、ソリューション案件では、積極的な商談開拓もあり、受注面は順調に推移いたしました。

(その他)

- ・売上高 2億9千8百万円 (前年同期比16.2%増)
- ・営業利益 2千9百万円 (前年同期比20.6%増)

協栄マリテック株式会社が行う、救命設備の販売・整備事業は、航空機用救命具の整備受注が好調に推移するとともに、船舶用の整備受注も堅調に推移し、総じて順調に推移いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて17億4千7百万円増加し、380億9千5百万円となりました。

- ・流動資産は、受取手形及び売掛金15億1千5百万円の増加、現金及び預金5億5千7百万円の増加、電子記録債権5千5百万円の減少、原材料及び貯蔵品4千5百万円の減少等により、19億円増加し、311億9千1百万円となりました。
- ・固定資産は、投資有価証券3億6千9百万円の減少、有形固定資産1億3千6百万円の増加等により、1億5千3百万円減少し、69億3百万円となりました。
- ・流動負債は、未払法人税等4億9千7百万円の減少、賞与引当金1億5千2百万円の減少、支払手形及び買掛金8億3千4百万円の増加等により、1億5千2百万円減少し、173億3千2百万円となりました。
- ・固定負債は、長期借入金12億6千8百万円の増加等により、12億8千万円増加し、51億7千8百万円となりました。

この結果、純資産は、6億1千9百万円増加し、155億8千4百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の41.2%から0.3ポイント減少し、40.9%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ5億5千7百万円増加し、23億3千6百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は2億3千4百万円となりました。これは主として次の要因によるものです。

資金増加要因：	税金等調整前四半期純利益	9億6千3百万円
	仕入債務の増加	4億8千4百万円
資金減少要因：	売上債権の増加	9億8千万円
	法人税等の支払額	6億3千5百万円

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は3億3千百万円となりました。これは主として固定資産の取得による支出等によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は10億9千万円となりました。これは主として借入れによる収入等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日(2022年10月28日)公表いたしました「連結業績予想の修正および剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,518,737	3,076,732
受取手形及び売掛金	14,879,905	16,395,482
電子記録債権	2,757,207	2,701,215
商品及び製品	7,612,427	7,809,609
仕掛品	503,338	585,516
原材料及び貯蔵品	243,810	198,236
その他	781,303	426,483
貸倒引当金	△6,261	△1,897
流動資産合計	29,290,469	31,191,378
固定資産		
有形固定資産	1,376,667	1,513,431
無形固定資産	509,664	526,581
投資その他の資産		
投資有価証券	3,229,876	2,860,492
退職給付に係る資産	915,566	922,805
繰延税金資産	83	7,869
その他	1,377,553	1,469,213
貸倒引当金	△352,138	△396,497
投資その他の資産合計	5,170,940	4,863,882
固定資産合計	7,057,272	6,903,895
資産合計	36,347,742	38,095,273
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,574,522	9,409,011
電子記録債務	1,268,286	1,310,712
短期借入金	1,514,600	2,540,269
1年内返済予定の長期借入金	2,693,500	1,667,000
未払法人税等	697,044	199,067
賞与引当金	915,113	762,818
災害損失引当金	25,908	5,439
事業構造改善引当金	329,000	348,450
その他	1,466,116	1,089,258
流動負債合計	17,484,092	17,332,026
固定負債		
長期借入金	3,200,000	4,468,000
繰延税金負債	277,247	289,345
資産除去債務	—	121,295
その他	421,405	300,341
固定負債合計	3,898,653	5,178,982
負債合計	21,382,746	22,511,009



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,161,819	3,161,819
資本剰余金	3,120,110	3,120,023
利益剰余金	7,375,648	7,955,899
自己株式	△485,979	△486,319
株主資本合計	13,171,598	13,751,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,392,318	1,140,559
為替換算調整勘定	241,820	552,046
退職給付に係る調整累計額	159,258	140,236
その他の包括利益累計額合計	1,793,398	1,832,841
純資産合計	14,964,996	15,584,264
負債純資産合計	36,347,742	38,095,273

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	28,668,914	31,003,492
売上原価	24,750,682	26,584,098
売上総利益	3,918,231	4,419,393
販売費及び一般管理費	3,274,178	3,335,546
営業利益	644,052	1,083,847
営業外収益		
受取利息	274	61
受取配当金	43,614	51,999
為替差益	25,377	—
貸倒引当金戻入額	21,959	4,366
その他	97,140	52,657
営業外収益合計	188,367	109,085
営業外費用		
支払利息	40,769	40,503
シンジケートローン手数料	21,342	22,763
為替差損	—	1,516
債権売却損	5,519	6,489
その他	10,915	26,194
営業外費用合計	78,547	97,466
経常利益	753,872	1,095,466
特別利益		
固定資産売却益	179	333
投資有価証券売却益	—	23,097
事業構造改善引当金戻入額	2,116	—
その他	17	24
特別利益合計	2,314	23,455
特別損失		
固定資産売却損	2,450	471
固定資産除却損	1,941	5,899
棚卸資産廃棄損	22,087	—
事業構造改善引当金繰入額	—	19,450
本社移転費用	102,000	129,257
特別損失合計	128,479	155,078
税金等調整前四半期純利益	627,707	963,843
法人税、住民税及び事業税	173,758	162,915
法人税等調整額	△143,312	130,483
法人税等合計	30,446	293,398
四半期純利益	597,261	670,444
親会社株主に帰属する四半期純利益	597,261	670,444

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	597,261	670,444
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81,837	△251,759
為替換算調整勘定	52,062	310,225
退職給付に係る調整額	△20,912	△19,021
その他の包括利益合計	112,988	39,443
四半期包括利益	710,249	709,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	710,249	709,888

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	627,707	963,843
減価償却費	142,953	126,558
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△21,977	△4,400
賞与引当金の増減額 (△は減少)	69,754	△153,323
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	△211,066	19,450
本社移転費用引当金の増減額 (△は減少)	102,000	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△38,311	△34,655
受取利息及び受取配当金	△43,888	△52,060
支払利息	40,769	40,503
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△23,097
固定資産除却損	1,941	5,899
有形固定資産売却損益 (△は益)	2,270	137
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,080,703	△980,573
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△45,620	△782
仕入債務の増減額 (△は減少)	△396,411	484,842
未収消費税等の増減額 (△は増加)	48,065	112,889
未払消費税等の増減額 (△は減少)	14,714	52,623
その他	△225,720	△168,549
小計	△1,013,523	389,305
利息及び配当金の受取額	43,888	52,060
利息の支払額	△40,752	△40,556
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△33,801	△635,596
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,044,188	△234,785
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の売却による収入	—	36,430
投資有価証券の取得による支出	—	△6,819
有形固定資産の売却による収入	215	333
有形固定資産の取得による支出	△280,850	△305,434
無形固定資産の取得による支出	△2,500	△3,647
投資不動産の取得による支出	—	△136,056
敷金及び保証金の差入による支出	△139,335	△6,982
敷金及び保証金の回収による収入	—	91,274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△422,469	△330,903
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	4,029,536	4,193,221
短期借入金の返済による支出	△1,946,906	△3,204,604
長期借入れによる収入	—	2,335,000
長期借入金の返済による支出	△843,500	△2,093,500
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△49,733	△48,569
自己株式の売却による収入	—	94
自己株式の取得による支出	△506	△521
配当金の支払額	△30,469	△90,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,158,421	1,090,928
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,684	32,756
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△287,552	557,994
現金及び現金同等物の期首残高	2,453,091	1,778,737
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,165,539	2,336,732

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(事業構造改善引当金)

2021年9月に閉鎖しました相模原事業所において、事業所用地引き渡しまでに発生する費用及び損失に備えるため、その発生見込額を事業構造改善引当金として計上しております。

(災害損失引当金)

2022年3月16日に福島県沖で発生した地震により、当社の連結子会社である協栄サーキットテクノロジー株式会社の生産設備等に被害が発生したため、原状回復に要する費用見込額を災害損失引当金として計上しております。

(新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症は、経済及び企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予見することは困難な状況にあります。当社グループでは、このような状況を踏まえ会計上の見積りを行っております。なお、現時点では当社グループの会計上の見積りに与える影響及び業績に与える影響は軽微であると考えておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、当連結会計年度の当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した内容から、重要な変更はありません。

(グループ通算制度の適用)

当社及び国内連結子会社は従来連結納税制度を適用していましたが、前連結会計年度中にグループ通算制度を適用しない旨の届出書を提出したことにより、当連結会計年度から単体納税制度に移行しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	半導体 デバイス事業	プリント 配線板事業	産業機器 システム事業	システム 開発事業	その他	合計
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	17,780,106	3,400,086	5,350,501	1,881,721	256,497	28,668,914
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	17,780,106	3,400,086	5,350,501	1,881,721	256,497	28,668,914
セグメント間の内部 売上高又は振替高	78,268	—	10,024	46,868	—	135,161
計	17,858,374	3,400,086	5,360,526	1,928,590	256,497	28,804,075
セグメント利益又は損 失(△)	729,850	△51,801	446,233	287,710	24,364	1,436,358

(注) 各報告セグメントに属する主な商品及び製品又はサービスの内訳は次のとおりです。

「半導体デバイス事業」は、半導体、電子デバイス、電子材料等の購入・販売、保守サービス及びIC設計を行っております。

「プリント配線板事業」は、プリント配線板の製造・購入・販売を行っております。

「産業機器システム事業」は、FA・環境システム設備等の購入・販売及び保守サービスを行っております。

「システム開発事業」は、ソフトウェア開発・システム開発及び情報システム機器・電子機器・パッケージソフト等の購入・販売及び保守サービスを行っております。

「その他」は、船舶用救命器具類の整備及び購入・販売を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,436,358
全社費用(注)	△792,306
四半期連結損益計算書の営業利益	644,052

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	半導体 デバイス事業	プリント 配線板事業	産業機器 システム事業	システム 開発事業	その他	合計
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	20,684,208	3,387,458	4,755,196	1,878,500	298,128	31,003,492
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	20,684,208	3,387,458	4,755,196	1,878,500	298,128	31,003,492
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56,645	—	6,118	36,864	—	99,629
計	20,740,853	3,387,458	4,761,315	1,915,365	298,128	31,103,121
セグメント利益又は損 失(△)	1,275,684	△30,167	401,758	203,749	29,374	1,880,399

(注) 各報告セグメントに属する主な商品及び製品又はサービスの内訳は次のとおりです。

「半導体デバイス事業」は、半導体、電子デバイス、電子材料等の購入・販売、保守サービス及びIC設計を行っております。

「プリント配線板事業」は、プリント配線板の製造・購入・販売を行っております。

「産業機器システム事業」は、FA・環境システム設備等の購入・販売及び保守サービスを行っております。

「システム開発事業」は、ソフトウェア開発・システム開発及び情報システム機器・電子機器・パッケージソフト等の購入・販売及び保守サービスを行っております。

「その他」は、船舶用救命器具類の整備及び購入・販売を行っております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,880,399
全社費用(注)	△796,551
四半期連結損益計算書の営業利益	1,083,847

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。